

2-(5) 学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援

学生支援組織

芸術学部・芸術研究科

	組織名	機能	年間利用件数		
			25年度	26年度	27年度
学生への保健・衛生対応	保健センター	《機能》 学生一人ひとりが、自己の健康管理に関心を持ち、豊かな学生生活を送ることができるよう、健康支援を行なう。 《スタッフ、対応時間》 専任保健師・看護師 各1名 非常勤4名(医師1名-毎週月曜日、看護師3名-土曜・日曜・祝日交代勤務) 9:00～18:00(月～金曜日)※長期休暇中9:00～17:00 9:00～18:00(土・日・祝日)	6,678	6,437	7,218
カウンセリング等の面談、メンタルヘルス相談	学生相談室	《機能》 日常生活の中で起こる様々な悩みや問題について共に考え、解決するための相談を行なう。 《スタッフ、対応時間》 専任カウンセラー1名 非常勤1名(医師1名-毎週火曜日) 10:00～18:00(月～金曜日) ※年間利用件数については、平成24年度より医師の面談件数を含む	584	650	786
就職支援、進学支援	キャリアデザインセンター	《機能》 就職や進学について個別相談や個別指導を行うとともに、大学全体の学生支援策を立案する。求人や企業説明会について企業開拓を行うとともに、企業と学生とのコーディネートも行う。 《スタッフ、対応時間》 専任職員4名 常勤キャリアコンサルタント3名 9:00～18:00(月～金曜日) 9:00～17:00(土曜日)	2,025	2083	2171

芸術学部・芸術研究科

	組織名	機能
履修支援	教学事務室 教学支援グループ	新入生ガイダンス、在学生ガイダンス、履修相談、履修登録・履修修正、成績通知書配付、成績確認、履修相談、既修得単位認定、単位互換制度対応、転学科・転コース相談、休学・退学・復学・再入学・転籍・編入相談等を行なっている。
研究支援	教学事務室 教学支援グループ	<芸術学部>創作・研究補助制度の掲示、説明会の実施、申込書類のとりまとめ、審査会運営、採否連絡、授与式運営等の各種手続きを行なっている。 <芸術研究科>研究・制作・発表助成制度の掲示、説明会の実施、申込書類の取りまとめ、審査会運営、採否連絡、出金依頼受付等の各種手続きを行なっている。
生活支援	教学事務室 教学支援グループ	学費納入、学生会(代議員制度)、サークル、拾得物取扱、アルバイト募集の掲示、施設使用申込、生活上のトラブル相談、などの支援を行なっている。
経済支援	教学事務室 教学支援グループ	奨学金情報の掲示、採用説明会の実施、申込書類の取りまとめ、採否連絡、振込、返還等の各種手続きを行なっている。
留学生支援	教学事務室 教学支援グループ	生活指導、学費納入、ビザ発給、各種伝達事項管理などの支援を行なっている。
障がいを持つ学生の支援	教学事務室 教学支援グループ・ 保健センター	障がいの種類により、学生生活窓口(教学事務室教学支援グループ)、保健センター、学生相談室と所属学科の教職員が連携し、支援体制をとっている。

通信教育部芸術学部・芸術研究科(通信教育)

	組織名	機能および具体的な支援体制
社会人入学生の支援	通信教育部 学務グループ	夏期スクーリング、冬期スクーリング期間中に、託児ルームを開設し1歳以上～未就学児を持つ学生の履修をサポートしている。利用者には一部経費負担も求めるが、運営に掛かる経費の90%以上は大学で負担し、便宜を図っている。
転籍学生への支援 (本学通学部から通信教育部への異動希望者)	通信教育部 学務グループ	通学部から通信教育部への転籍を希望する学生の窓口となる事務職員をそれぞれに置き、希望学生やその保護者へ個別対応している。
障がいを持つ学生の支援	通信教育部 学務グループ	障がいをもつ学生に対しては、入学前にコース教員・事務局(学務職員)、本人(と保護者)により確認を行い、本人の障がいの状況や本学で対応可能な範囲を確認している。 入学後に発症、支援を必要とする場合は、状況が判明した時点で面談を行い、双方で対応可能な範囲を確認している。